

株式会社ダイフク <6383>

平成 29 年 3 月期

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

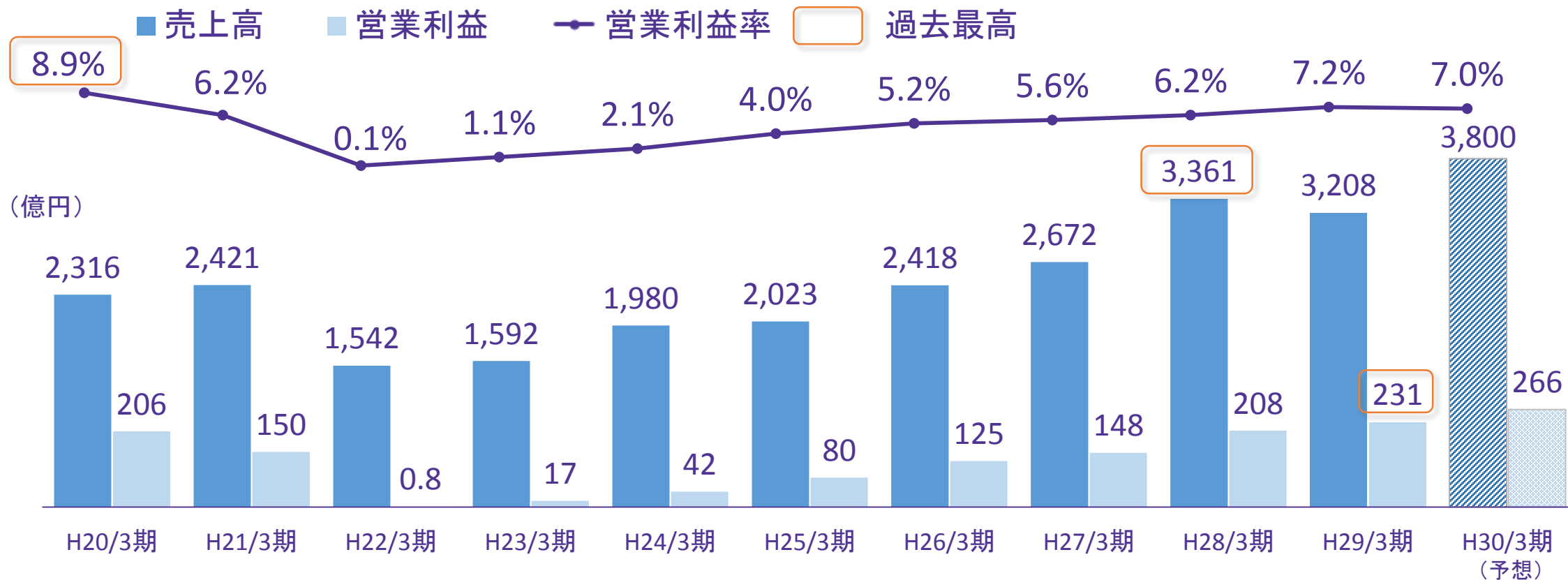
決算説明資料

2017 年 5 月 11 日

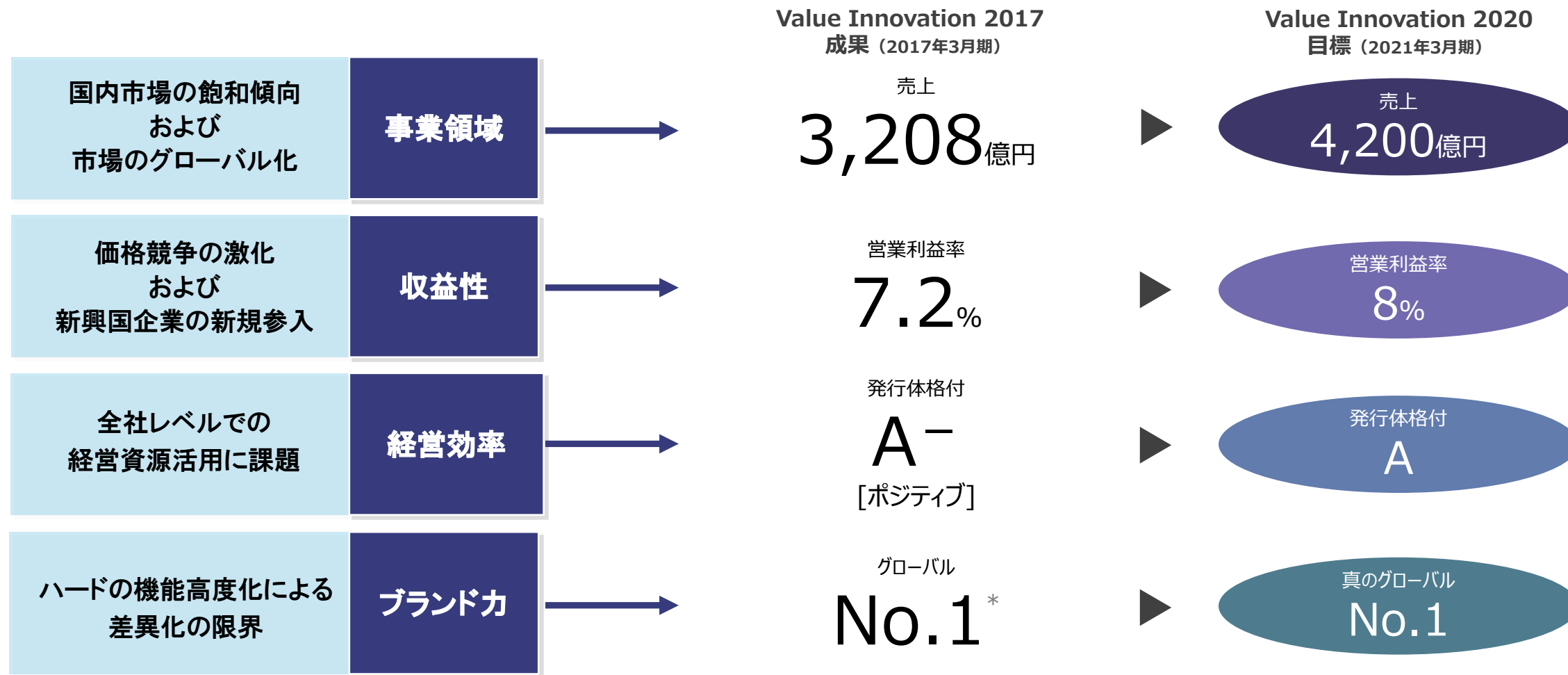


DAIFUKU
Always an Edge Ahead

- 受注・売上は主要分野がいずれも好調
- 営業利益、経常利益、当期純利益がいずれも過去最高。営業利益率は7%に到達
- 4カ年中期経営計画「Value Innovation 2017」最終年度目標の売上高3,400億円、営業利益210億円、ROE10%以上に対し、円高の影響を受けた売上高以外は目標を達成



着実に企業ステージ向上 新中計で“真のグローバル No.1”を目指す



*Modern Materials Handling より

(億円/切捨て)

	平成28/3期	平成29/3期予想 2/10修正公表	平成29/3期 実績	対前年 同期比
受注高	3,594.2	3,550	3,565.1	▲0.8%
売上高	3,361.8	3,200	3,208.2	▲4.6%
営業利益	208.7	225	230.9	+10.6%
経常利益	219.9	230	237.6	+8.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	136.5	165	167.4	+22.7%
包括利益	77.8	-	160.4	+106.2%

1株当たり当期純利益	118.72円	-	137.58円
------------	---------	---	----------------

為替レート(1US\$当たり)	121.04円	-	109.45円
-----------------	---------	---	----------------

(億円/切捨て)

	受注高 (外部顧客への受注高)		売上高 (外部顧客への売上高)		セグメント利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	
	平成28/3期	平成29/3期	平成28/3期	平成29/3期	平成28/3期	平成29/3期
ダイフク	1,421.3	1,711.7	1,449.8	1,458.6	84.6	133.1
コンテック	147.6	156.2	151.5	154.5	5.8	7.2
DNAHC※1	957.1	888.1	770.6	790.6	15.0	35.3
DPM※2	123.8	113.2	122.8	114.6	1.4	1.1
その他	944.2	695.8	817.9	687.8	32.3	22.8
連結調整等	-	-	48.9	1.9	▲2.8	▲ 32.2
合計 (調整後)	3,594.2	3,565.1	3,361.8	3,208.2	136.5	167.4

※1 DNAHC = Daifuku North America Holding Company

※2 DPM = 株式会社ダイフクプラスモア

(億円/切捨て)

	平成28年 3月期期末	平成29年 3月期期末	増減額
流動資産	2,143.2	2,224.6	+81.4
現金及び預金	491.8	648.0	+156.1
売上債権	1,312.9	1,240.0	▲72.9
棚卸資産	220.9	228.5	+7.6
その他	117.4	108.0	▲9.4
固定資産	817.3	810.7	▲6.5
有形固定資産	328.8	335.8	+7.0
無形固定資産	170.7	154.3	▲16.4
のれん	111.8	98.8	▲12.9
その他	58.9	55.4	▲3.4
投資その他の資産	317.7	320.5	+2.7
資産合計	2,960.5	3,035.4	+74.8

	平成28年 3月期期末	平成29年 3月期期末	増減額
流動負債	1,150.3	1,260.6	+110.3
仕入債務	579.6	591.1	+11.5
短期借入金	87.0	216.4	+129.4
その他	483.6	453.0	▲30.6
固定負債	509.0	351.3	▲157.7
長期借入金・社債	322.0	181.2	▲140.7
その他	187.0	170.0	▲16.9
負債合計	1,659.3	1,611.9	▲47.3
株主資本	1,236.6	1,366.9	+130.2
資本金	150.1	150.1	-
その他の包括利益累計額	33.8	23.9	▲9.8
非支配株主持分	30.6	32.4	+1.8
純資産合計	1,301.1	1,423.4	+122.2
負債純資産合計	2,960.5	3,035.4	+74.8

(億円/切捨て)

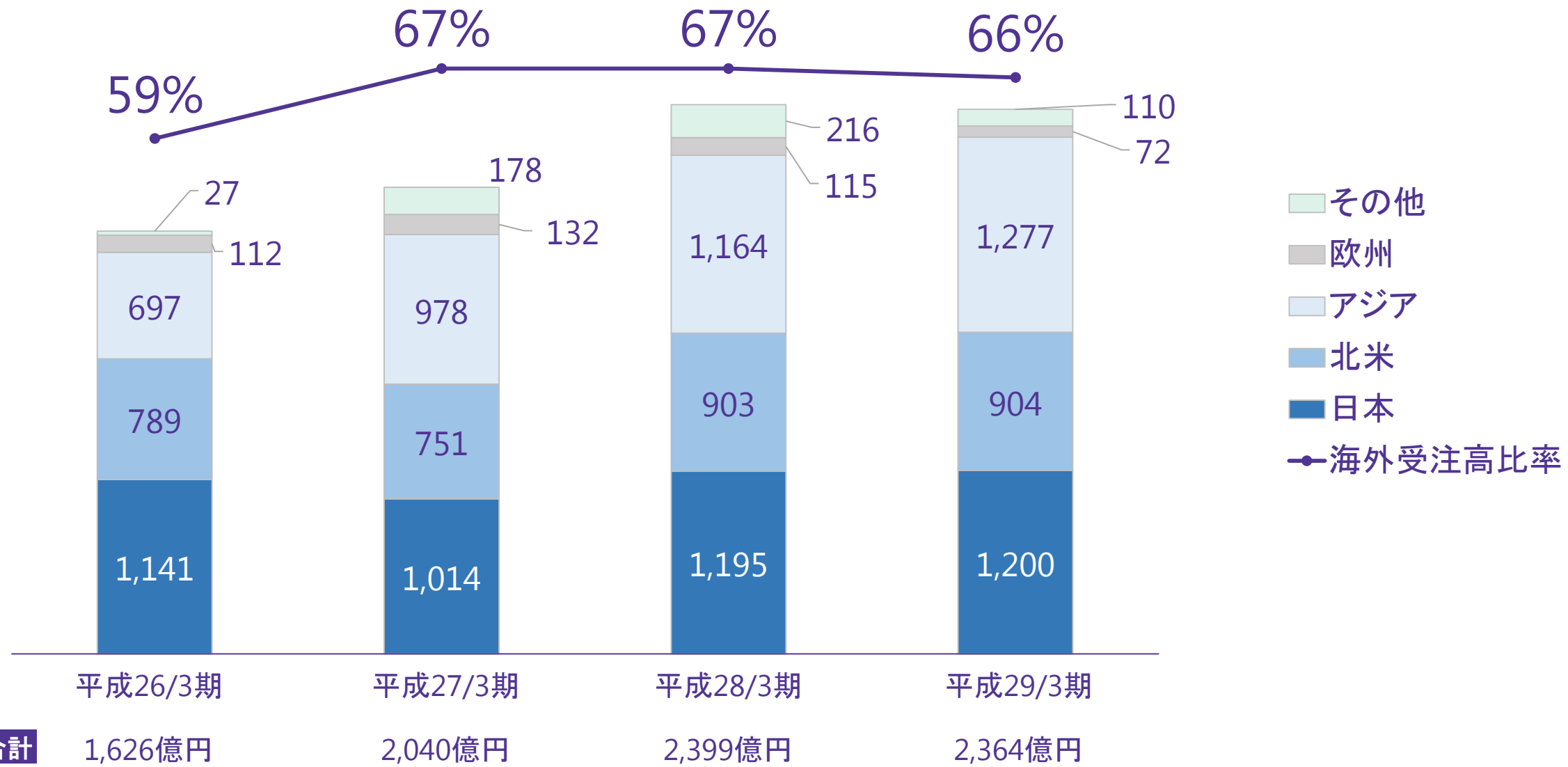
	平成28/3期	平成29/3期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	72.0	266.8	+194.7
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲20.9	▲53.9	▲32.9
フリー・キャッシュ・フロー	51.0	212.8	+161.8
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲87.0	▲44.0	+42.9
現金及び現金同等物に係る 換算差額	▲14.0	▲11.7	+2.2
現金及び現金同等物の増減額	▲49.9	157.0	+207.0
現金及び現金同等物の期首残高	540.8	490.8	▲49.9
現金及び現金同等物の期末残高	490.8	647.9	+157.0

連結業種別受注高・売上高

(億円/切捨て)

業種	受注高				売上高			
	平成28/3期		平成29/3期		平成28/3期		平成29/3期	
	受注高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
自動車および自動車部品	730.7	20.3%	618.7	17.4%	646.4	19.2%	604.1	18.8%
エレクトロニクス	1,117.4	31.1%	1,205.0	33.8%	1,051.8	31.3%	988.4	30.8%
商業および小売業	600.2	16.7%	626.9	17.6%	646.8	19.2%	535.9	16.7%
運輸・倉庫	237.5	6.6%	217.5	6.1%	213.5	6.4%	193.5	6.0%
機械	95.9	2.7%	70.8	2.0%	91.0	2.7%	76.8	2.4%
化学・薬品	140.7	3.9%	155.1	4.4%	153.4	4.6%	174.7	5.4%
食品	147.4	4.1%	156.2	4.4%	94.8	2.8%	124.7	3.9%
鉄鋼・非鉄金属	40.9	1.1%	32.1	0.9%	38.9	1.2%	38.5	1.2%
精密機器・印刷・事務機	44.3	1.2%	42.6	1.2%	39.0	1.2%	47.8	1.5%
空港	288.1	8.0%	315.4	8.8%	276.6	8.2%	283.1	8.8%
その他	150.6	4.3%	124.3	3.4%	109.0	3.2%	140.0	4.5%
合計	3,594.2	100.0%	3,565.1	100.0%	3,361.8	100.0%	3,208.2	100.0%

(億円/切捨て)

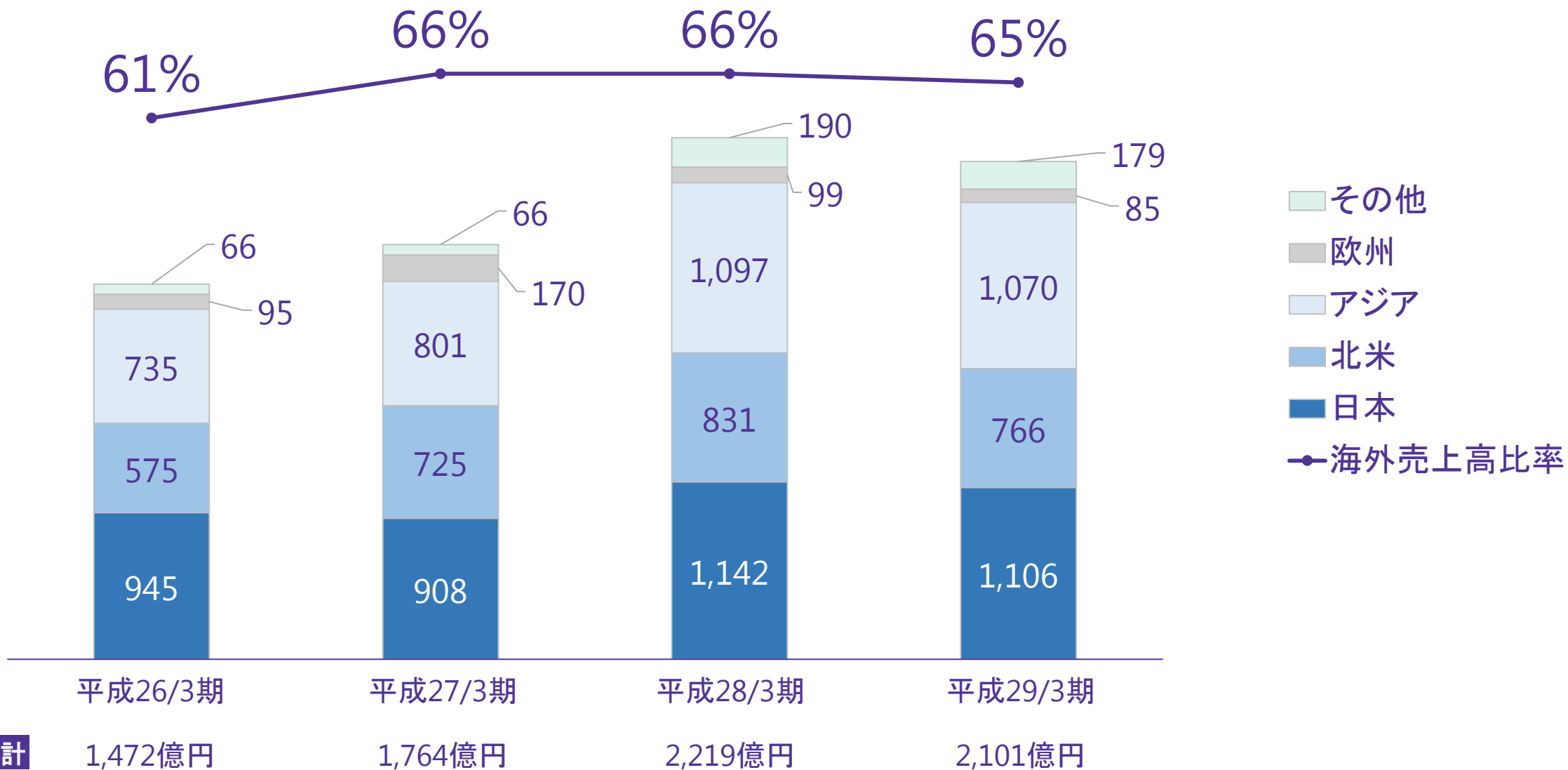


(億円/切捨て)

地域	国名	平成26/3期		平成27/3期		平成28/3期		平成29/3期	
		受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比
日本		1,141.5	41.2%	1,014.6	33.2%	1,195.1	33.3%	1,200.3	33.7%
北米		789.3	28.5%	751.8	24.6%	903.1	25.1%	904.6	25.5%
アジア		697.4	25.2%	978.9	32.1%	1,164.2	32.4%	1,277.7	35.8%
	中国	320.5	11.5%	289.3	9.5%	439.3	12.2%	553.6	15.5%
	韓国	203.7	7.4%	398.1	13.0%	330.1	9.2%	350.3	9.8%
	台湾	32.0	1.2%	173.2	5.7%	275.4	7.7%	251.0	7.0%
	その他	141.0	5.1%	118.2	3.9%	119.2	3.3%	122.6	3.5%
欧州		112.5	4.1%	132.0	4.3%	115.2	3.2%	72.3	2.0%
中南米		11.0	0.4%	41.1	1.3%	73.1	2.0%	26.5	0.7%
その他		16.3	0.6%	137.0	4.5%	143.3	4.0%	83.6	2.3%
合計		2,768.3	100.0%	3,055.6	100.0%	3,594.2	100.0%	3,565.1	100.0%

地域別売上高の推移

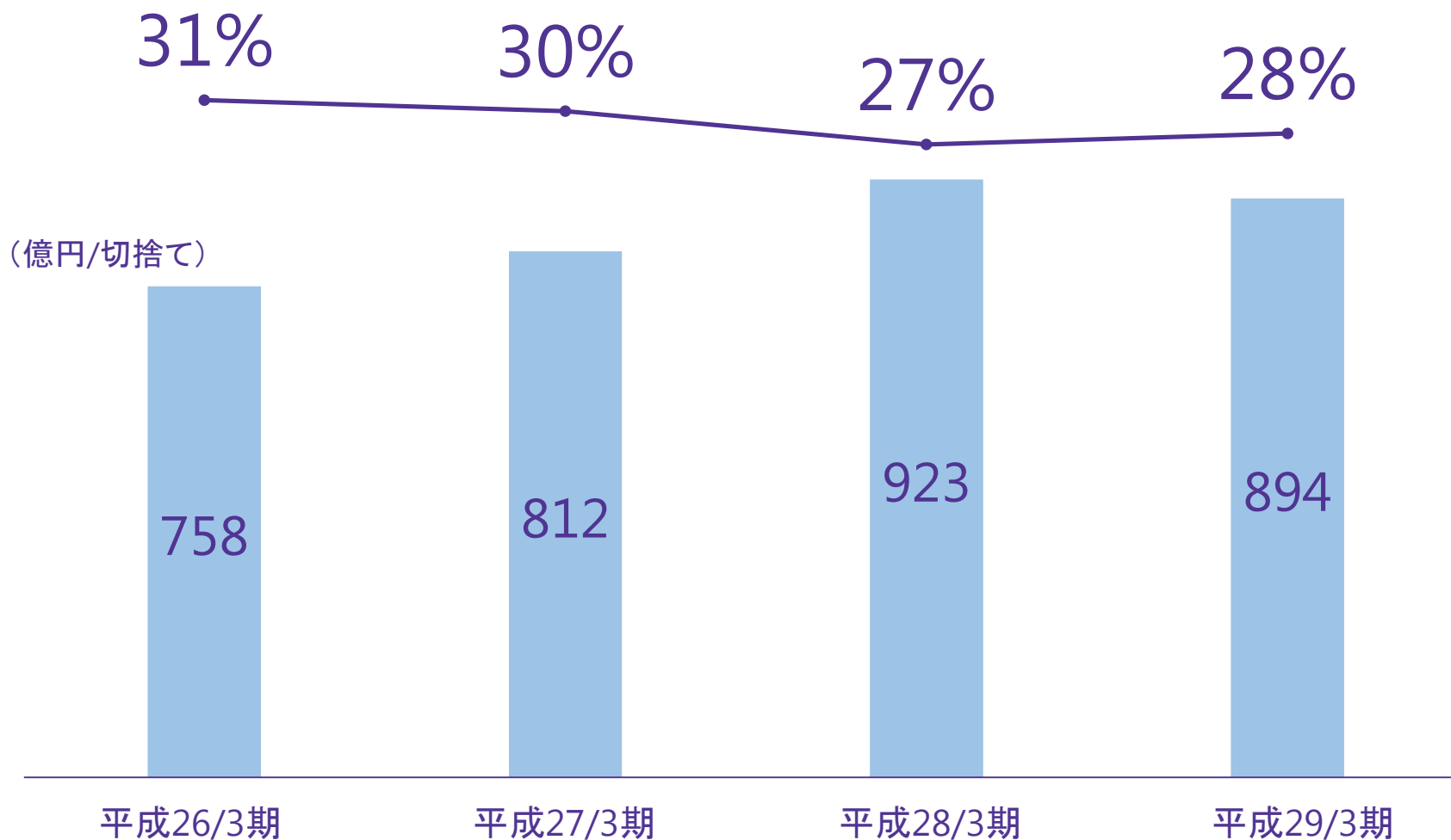
(億円/切捨て)



(億円/切捨て)

地域	国名	平成26/3期		平成27/3期		平成28/3期		平成29/3期	
		売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
日本		945.4	39.1%	908.7	34.0%	1,142.1	34.0%	1,106.7	34.5%
北米		575.6	23.8%	725.1	27.1%	831.7	24.7%	766.2	23.9%
アジア		735.1	30.4%	801.9	30.0%	1,097.9	32.7%	1,070.0	33.3%
	中国	283.5	11.7%	305.0	11.4%	395.8	11.8%	368.6	11.5%
	韓国	222.8	9.2%	305.3	11.4%	344.5	10.2%	322.7	10.0%
	台湾	77.0	3.2%	69.4	2.6%	233.7	7.0%	278.4	8.7%
	その他	151.6	6.3%	122.1	4.6%	123.7	3.7%	100.2	3.1%
欧州		95.4	3.9%	170.9	6.4%	99.2	3.0%	85.7	2.7%
中南米		48.3	2.0%	44.8	1.7%	27.0	0.8%	40.9	1.3%
その他		18.0	0.7%	21.2	0.8%	163.5	4.9%	138.4	4.3%
合計		2,418.1	100.0%	2,672.8	100.0%	3,361.8	100.0%	3,208.2	100.0%

(%: 対売上高比率)



※サービス売上高
納入したシステム・製品を
対象にした、保守・メンテナ
ンス、リニューアル、改造工
事などによる売上高

対前年
成長率

29%

米国の空港向けサービス
専門会社ELSを連結

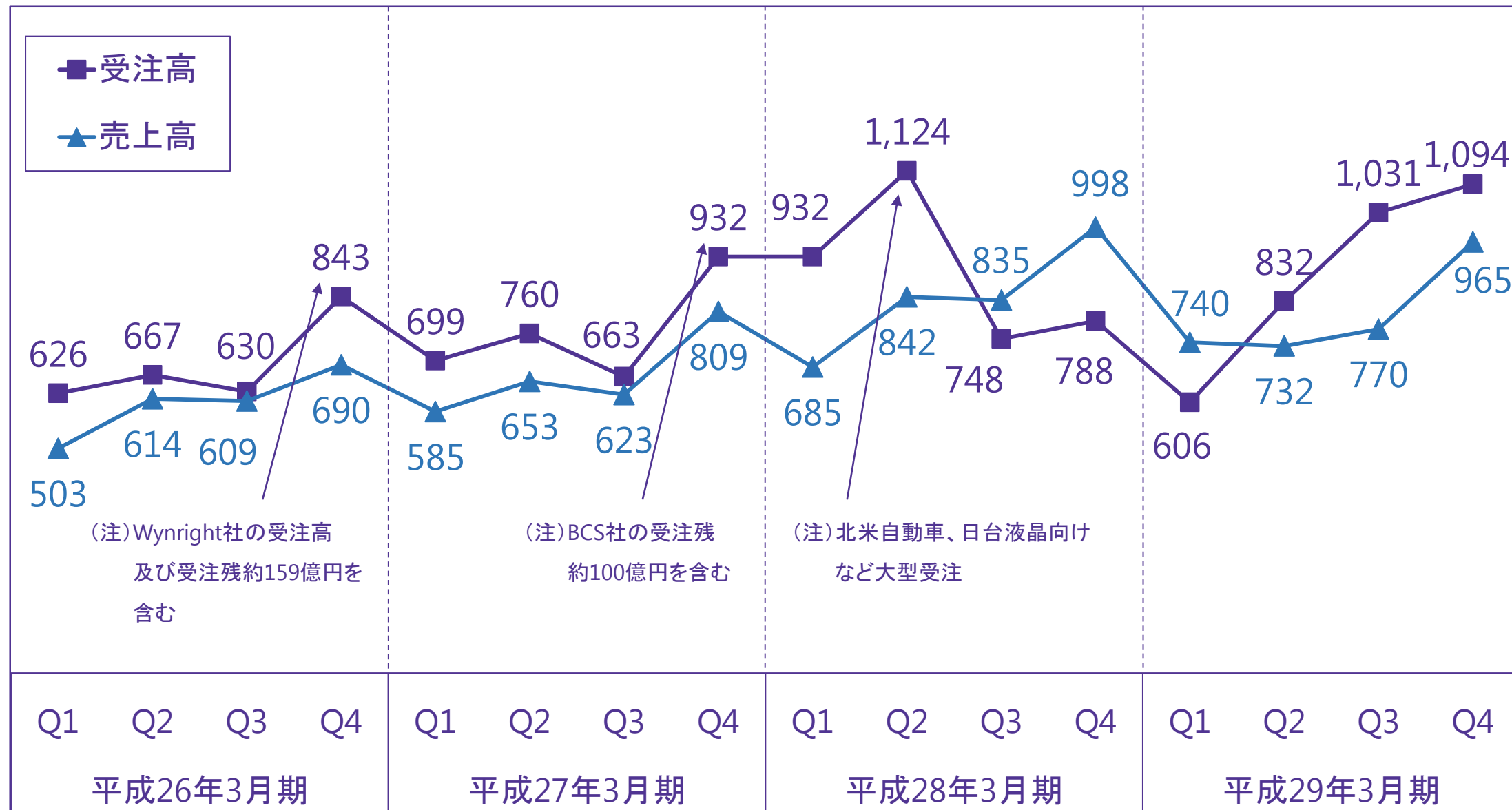
7%

14%

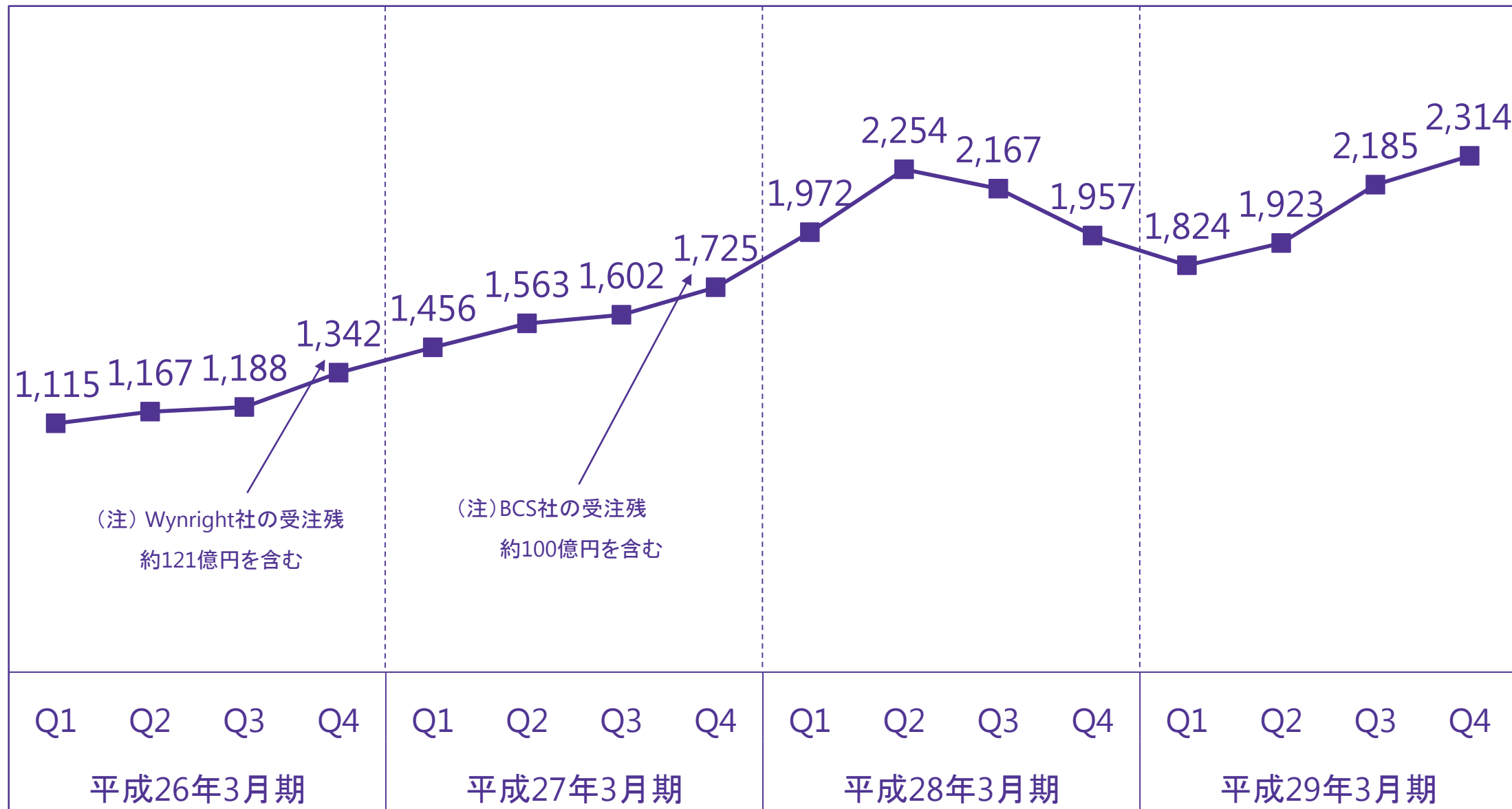
▲3%

受注高、売上高の四半期ごとの推移

(億円/切捨て)



(億円/切捨て)



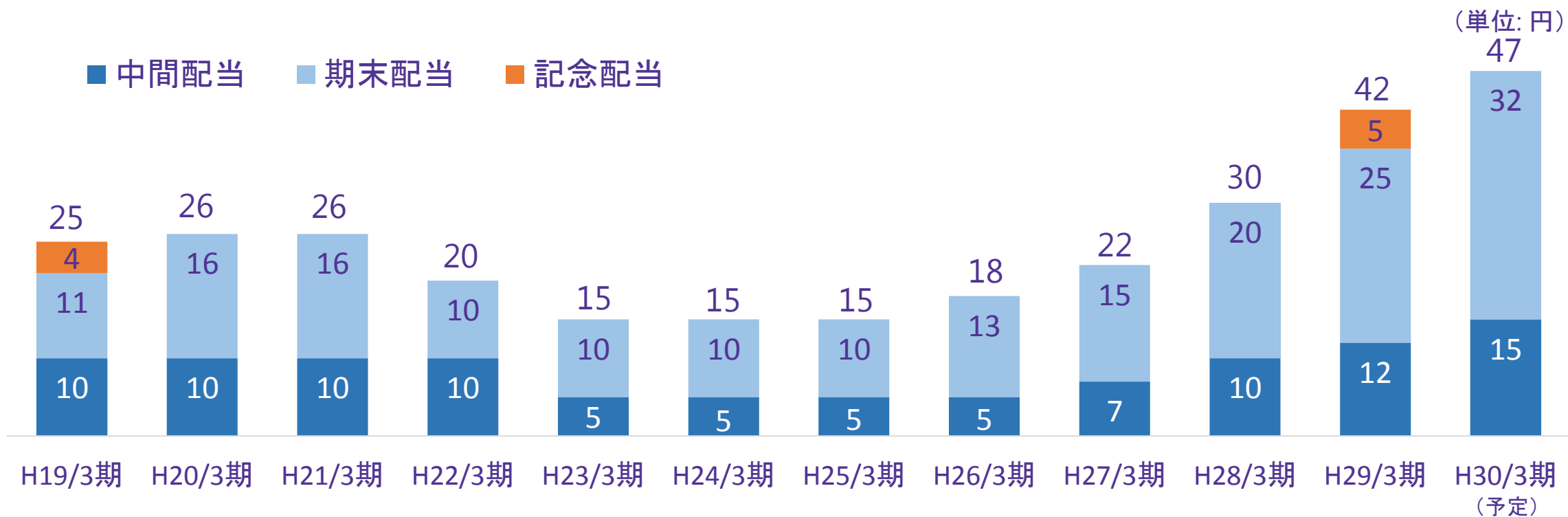
平成30年3月期業績予想（連結）

（億円/切捨て）

	平成29年 3月期2Q	平成30年 3月期2Q	対前年 同期比	平成29年 3月期通期	平成30年 3月期通期	対前年 同期比
受注高	1,438.9	2,100	+45.9%	3,565.1	3,900	+9.4%
売上高	1,472.6	1,800	+22.2%	3,208.2	3,800	+18.4%
営業利益	102.0	126	+23.4%	230.9	266	+15.2%
経常利益	102.5	129	+25.8%	237.6	274	+15.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	70.7	90	+27.3%	167.4	190	+13.5%

5期連続増配

- 平成29年3月期：年間配当42円（12円増配、配当性向30.5%）
中間配当：12円、期末配当：25円に加え、
創立80周年（平成29年5月）記念配当：5円
- 平成30年3月期：年間配当47円 予定（5円増配、配当性向30.1%）
中間配当：15円、期末配当：32円



有利子負債、固定費、従業員の状況(連結)

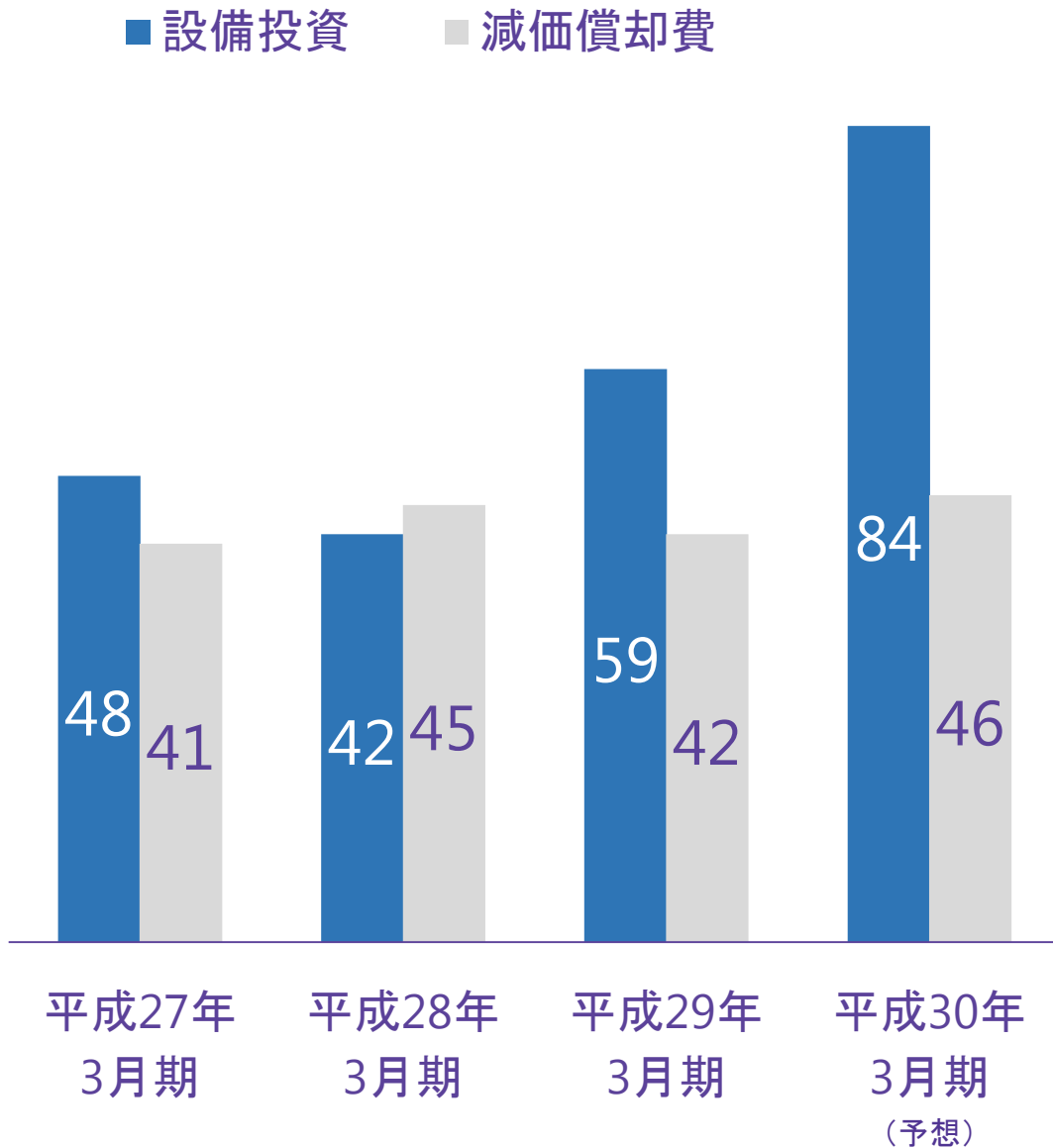
(億円/切捨て)

		平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期
	短期	70	129	87	216
	長期	511	476	322	181
有利子負債合計		581	605	409	397
D/Eレシオ※		0.60	0.56	0.32	0.29
固定費		805	831	973	934
	内、人件費	505	592	646	649
期末従業員数 (内、海外現地法人)		7,349人 (4,379人)	7,746人 (4,760人)	7,835人 (4,758人)	8,689人 (5,536人)

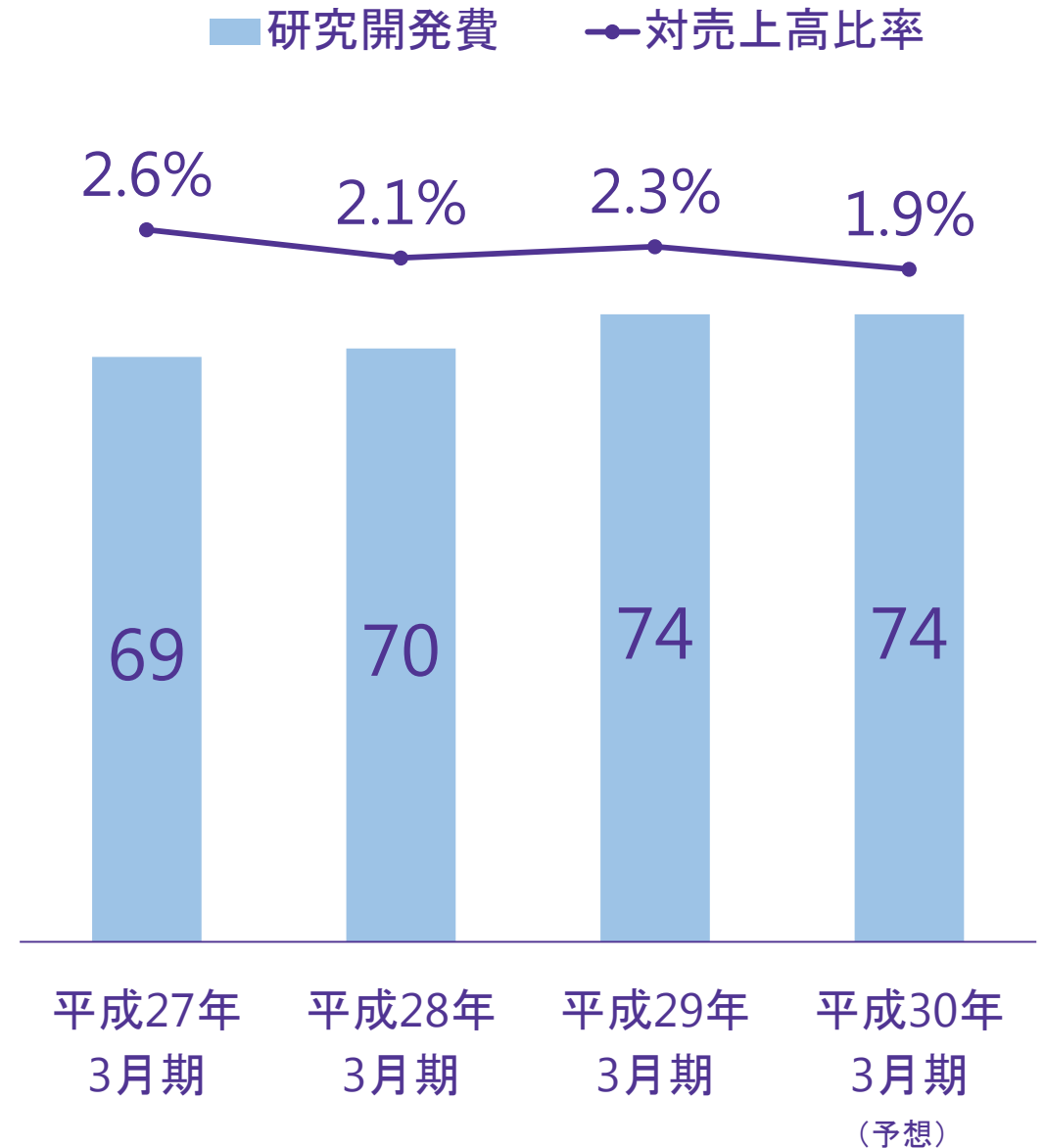
※ D/Eレシオ＝有利子負債÷自己資本(期末)

設備投資、減価償却費、研究開発費の状況(連結)

(億円/切捨て)



(億円/切捨て)



- 経済産業省主催の「健康経営優良法人2017(ホワイト500)」に認定
従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む姿勢が評価された
- (株)日本政策投資銀行の「BCM*格付」で最高ランクの格付けを取得
グループ全体でのリスクマネジメント推進、有事の代替生産体制、サプライチェーンにおける事業継続リスク低減策が評価された

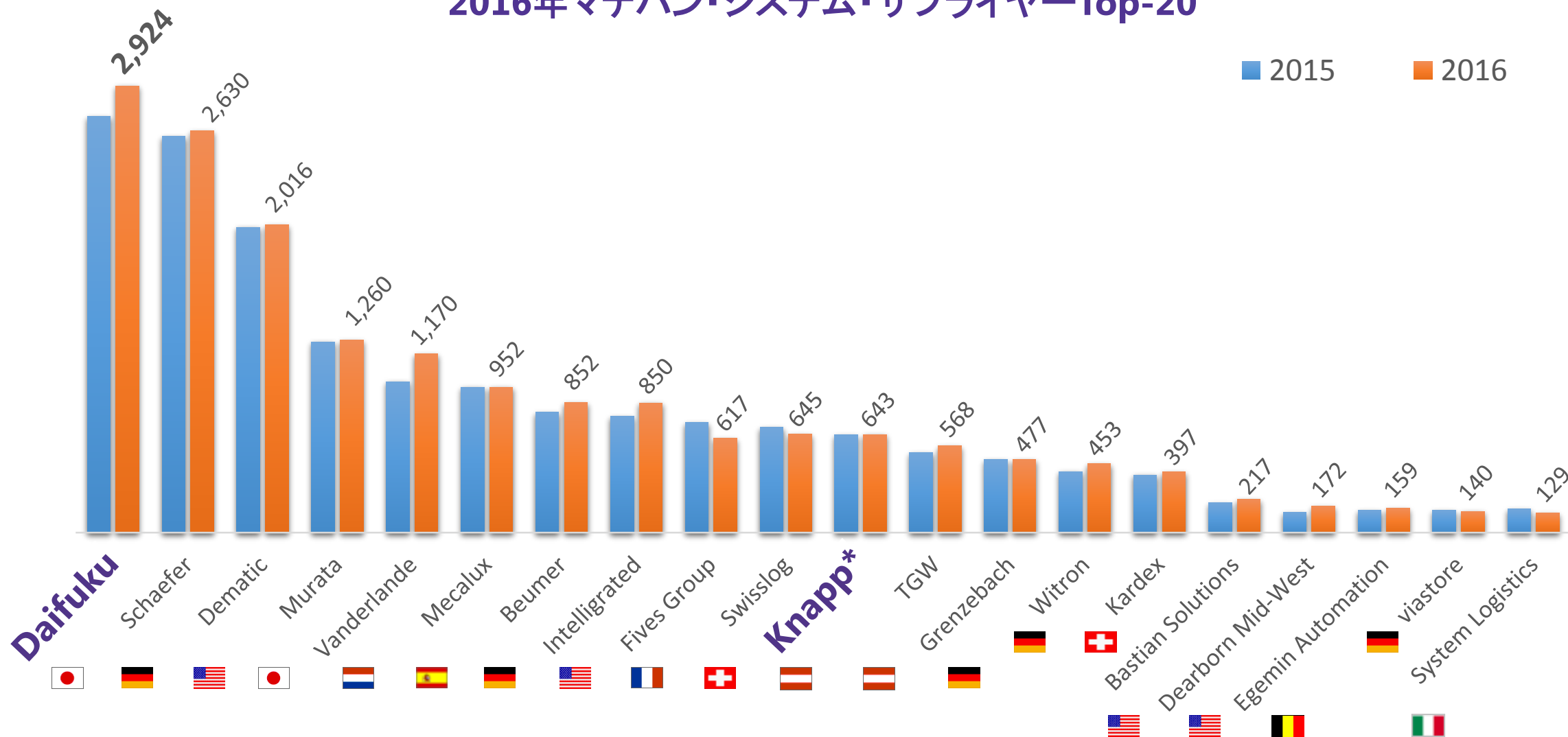


当社は、平成29年2月日本政策投資銀行(DBJ)よりDBJ BCM格付融資を受け、格付結果は「事業継続に対する取り組みが特に優れている」と評価されました。

*BCM = Business Continuity Management

2016年マテハン・システム・サプライヤーTop-20

(単位: 百万米ドル)



*2012年7月から持分法適用会社

(出典: Modern Materials Handling 2017年5月9日付けウェブサイト記事より。 www.mmh.com/article/top_20_worldwide_materials_handling_systems_suppliers_2016)

DAIFUKU

Always an Edge Ahead

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。